

WHO-FIC 韓国会議における ICF の動向

2009 年 10 月 10 日から 13 日の間、WHO-FIC ネットワークの年次会議中に生活機能分類グループ (FDRG) の会議が開催された。

議長 : Ros Madden、Gerold Stucki

ピア・レビューア : Albercht ZaiB、Gordon Tomes

FDRG での 1 年間の活動報告がされた。

- ・ 中間年次会議の開催: 2009 年 7 月、ブラジル、サンパウロにおいて、ラテン・アメリカ及びカリブ ICF ネットワーク会議と合同で開催。
- ・ ブリッジタスクグループ: ワシントングループとの共同作業 (ICF の統計的活用及び ICF のガイドラインの分野) の報告。
- ・ FDRG は以下の 8 つの課題に基づいて検討グループが組織されている。詳細は以下による。

①コーディング・ルールやガイドライン: (Task leader: Diane Caulfeild)

Coding Guidline という言葉から厳格なルール作りをしていると誤解を受けているが、ICF の利用を促進するために活用の留意点をまとめた「手引き書」の作成を行っている。会議参加者からは多くの問題点が指摘され、サービス受給資格の表の追加が提案がされるなど、昨年からの議論にひき続き、まだ最終版にいたっていない。

②ICF 改正 (Task leader: Nenad Kostanjsek)

ICF 改正用のプラットフォームが完成した。今後具体的に運用するための Terms of reference を作成し、FDRG 及び URC (分類改正改訂委員会) の投票を含む ICF 改正の管理プロセスを確認した。また、プラットフォームの使用方法を記載したユーザーガイドについても検討を行った。

③ICD との関係 (Task leader: Catherine Sykes)

ICD-11 作成ツール (i-CAT) に functional impact を記入する項目が作成されたことが報告された。その項目は用語の統一など ICF との調整が必要であり、FDRG に作業協力が依頼された。しかし、心身機能・身体構造はともかく、活動や参加を病気の functional impact として ICD の項目の中に取り入れることには、相当強い

反発があり、引き続き検討することになった。

④ICF による評価や統計的活用 (Task leader: Gerold Stucki and Judith Hollenweger)
一般的に利用可能な ICF のコアセット (parsimonious set) 版がほぼ完成した。11 月までにフィールドテストの実施要領案を検討し、12 月から 2010 年 3 月までフィールドテストを行う。その際各国の協力センターはできるだけ障害当事者にも参加してもらうように努力する。その結果をまとめて 2010 年に完成を目指す。

⑤ICF の教育 (Task leader: Cassia Maria Buchalla)
WEB でのトレーニングツールを発表した。今年中に素案を完成して公開し、メンバーによるフィールドテストを行いたい意向である。
また、ビギナーズガイドが出来てから 10 年近くたち、概念の周知からコード化などの活用につながるガイドが必要とのことから、ICF Overview の作成を開始することになった。検討のため小グループをたちあげる。

⑥倫理と人権 (Task leader: Jerome Bickenbach and Matilde Leonardi)
2009 年に引き続き 2010 年もイタリアで International Conference on Disability, Justice and Long-term Care を開催する予定。また、国連から障害者権利条約のモニタリングを要請されている。そこに ICF を活用したい。さらに、ICF の付属資料 6「ICF の使用に関する倫理的ガイドライン」の改正案を来年の FDRG 会議に提案する。

⑦環境因子 (Task leader: Janice Miller)
ISO9999 との協議を行ったことの報告があった。今 ISO は見直しの時期なので、ISO9999 と ICF との食い違いを是正し、統一を図る協議を急ぐ必要がある。

⑧ICF におけるターミノロジーとオントロジー
(Task leader: Nenad Kostanjsek and Matti Ojala)
ICF の分類項目の定義を用いた情報モデルの作成、オントロジーの開発を引き続き検討している。

次回 FDRG : 2010 年 6 月頃を検討中